

令和6年度第4回尾張旭市障害者地域自立支援連携会議（運営会議）会議録

1 開催日時

令和7年3月5日（水）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時25分

2 開催場所

尾張旭市役所 講堂1

3 出席した構成員

相談支援部会長 樋口 美紀、精神障がい者支援部会長 村田 健郎（事務局兼務）、日中活動・就労ネットワーク連絡会長 古宮 志乃

4 欠席した構成員

こども部会長 谷口 亜弥、医療的ケア児等支援部会長 榎本 博文、尾張東部圏域地域アドバイザー 竹田 晴幸

5 出席した事務局職員

福祉課障がい福祉係長 鎌倉 大明、障がい福祉係副主幹 長江 奈緒子、障がい福祉係主査 村田 あゆみ

子育て相談課こどもの発達センター係長 丸田 純史

障がい者基幹相談支援センター 理事長 川上 雅也、センター長 村田 健郎、相談支援専門員 五味 よう子、水野 旭、山田 涼子、鈴木 真紀子

6 議題

(1) 専門部会の活動報告について

(2) 令和7年度運営会議の開催回数及び協議内容について

(3) 基幹相談支援センターからの情報提供及び課題に対する進捗状況について

(4) その他

7 会議の要旨

障がい福祉係長	只今より、第4回運営会議を開催します。 はじめに、議題(1)専門部会の活動報告について、各部会より報告をお願いします。
樋口委員	相談支援部会では、2月20日に高校3年生のケース引継ぎ、社会資源の活用等について協議するとともに、相談員の質の向上について、竹田アドバイザーより助言をいただきました。 また、次年度から、副部会長を置く予定です。 なお、次年度の取り組み事項としては、事例検討、モニタリング、BCP、ケアマネジャーとの交流会等について、協議する予定です。
障がい福祉係副	こども部会については、本日、谷口部会長が欠席のため代わりに

主幹	報告します。 次回こども部会は、3月13日に開催し、次年度の取り組み事項及びあさひシルミルフェアについて協議する予定です。
障がい福祉係副主幹	医療的ケア児等支援部会については、本日、榎本部会長が欠席のため代わりに報告します。 今年度は3回の作業部会を開催し、医療的ケア児と家族のためのガイドブックを作成しました。 次回3月10日に開催する部会で、構成員に御意見をいただき、4月に関係機関へガイドブックを配付する予定です。また、次年度の取り組み事項についても、次回の部会で協議する予定です。
村田委員	精神障がい者支援部会では、精神障がい者の雇用促進に向けた啓発事業として、企業訪問を3件実施しました。 また、医療機関との勉強会については、事例を用いたグループワークを本日午後に行います。 なお、次年度の取り組み事項については、令和7年度第1回部会で協議し、決定する予定です。
古宮委員	日中活動・就労ネットワーク連絡会では、2月25日に部会を開催し、地域課題の抽出についての検討、令和7年度の役割分担決め等を行いました。 また、先日開催された全体会議において部会として活動する承認をいただいたので、次年度は地域課題の解決に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。具体的には、BCP作成や就労選択支援に関する研修等を行いたいと思います。
基幹相談支援センター 川上	瀬戸市では、ジョブウェル横山氏を講師として、10月に就労選択支援に関する研修を実施する予定です。 2月21日に尾張旭市で開催された、カスタマーハラスメント研修は大変有意義でした。今までの経験で、カスハラ対応を誤った結果、利用者に不利益が生じたケースがあったので、今後支援者の皆様に対応の仕方を学んでいただけたらと思います。 情報提供ですが、事業所数の増加に伴い、県の監査室の職員数を増員するほか、民間事業所職員が監査を行う体制が開始されますので御承知おきください。
基幹相談支援センター 五味	専門部会の活動報告について、4点質問します。 相談支援部会について、今後の取り組み事項であるBCPについてとは具体的にどのようなことを行いますか。 こども部会について、12月に実施した講演会「軽度・グレーゾーン児童の効果的な支援について」のアンケート結果を教えてい

	ただきたいです。 医療的ケア児等支援部会について、春日井市のガイドブックを基に本市のガイドブックを作成したと聞いていますが、本市独自の内容は何かありますか。 日中活動・就労ネットワーク連絡会について、事業所一覧表マッチングシートは、どこに保管されていますか。また、公表する予定はありますか。
樋口委員	BCPについては、相談支援部会で具体的な内容を今後検討する予定です。
障がい福祉係副主幹	こども部会の講演会のアンケート結果では、講義内容は概ね好評でした。 医療的ケア児等支援部会のガイドブックについて、本市独自の内容としては、災害時対応の部分で「もーやっこネットワークの活用」を入れています。
古宮委員	日中活動・就労ネットワーク連絡会のマッチングシートは、特に公にはせず連絡会内で共有しています。 なお、原本は連絡会長が保管しています。
基幹相談支援センター 水野	日中活動・就労ネットワーク連絡会に質問します。令和7年度の事業所説明会が土曜日開催となっていますが、これは要望を受けて土曜日に設定したのでしょうか。
古宮委員	おっしゃるとおりです。
基幹相談支援センター 水野	こども部会のシルミルフェアも、土日開催の要望があったと思いますので、検討していただけたらと思います。
障がい福祉係長	以上で、議題(1)を終了します。 次は、議題(2)令和7年度運営会議の開催回数及び協議内容についてです。 今年度、運営会議は年4回実施しました。 来年度は6月、8月、10月、12月、2月の年5回とし、うち10月にグループホーム及び地域生活支援拠点の評価を行いたいと思います。 このことについて、御意見等ありますか。
	(なし)
障がい福祉係長	なお、日中活動・就労ネットワーク連絡会についてですが、現在、ワーキンググループとして活動していますが、先日の全体会議で専門部会として活動することについて承認を得ました。本来であれば、運営会議で承認を得た後、全体会に諮りますが、日程の都合上、全体会議の開催が先となりましたので、御了承ください。

	このことについて、御意見等ありますか。
	(なし)
障がい福祉係長	特に御意見がないようですので、日中活動・就労ネットワーク連絡会は令和7年度から部会として活動することとします。よろしくお願いします。 次に、議題(3)基幹相談支援センターからの情報提供及び課題に対する進捗状況について協議します。
基幹相談支援センター 水野	前回までに提示された課題については、3点あります。 1点目の性の理解を深めるための場を検討することについては、こども部会で次年度以降検討していただきたいと思います。 2点目の市職員への障害理解促進研修については、実施検討中となっています。 3点目のヘルパー事業所の人材確保及び育成のための手立てについては、継続課題として今後も検討していきたいと思います。 また、新たな課題及び報告事項としては、4点あります。 1点目は、相談支援専門員についてですが、モニタリングで事業所訪問をしない相談員がいる。 2点目は、車いすユーザーの方が利用できる事業所が少ない。 3点目は、市内の地域活動支援センターがない。 4点目は、市内の引きこもり窓口が6か所あるため、どこに相談したらよいのか分かりにくい。 報告は以上です。
障がい福祉係長	ヘルパーの人材確保及び育成について、市では研修費用の助成について現在検討中です。 その他情報提供ですが、福祉政策課については令和7年度より課が統合することにより、課名が変わる予定です。
村田委員	アウトリーチ職員は、今後増員する予定がありますか。
障がい福祉係長	福祉政策課が担当課のため、わかりかねます。
村田委員	アウトリーチとして、ひきこもりの対象者や定義を明確にして、活動していただけるとよいと思います。
基幹相談支援センター 川上	相談窓口を明確にして、ワンストップで対応できる体制ができるとよいと思います。
基幹相談支援センター 五味	児童のひきこもりの場合、こども未来課、学校教育課、少年センターへの振り分けはどのようにしていますか。 次回運営会議で、担当課のかたに出席していただき、回答をいただきたいです。

村田委員	こどもの発達センターで、児童のひきこもりの相談を受けることはありますか。
こどもの発達センター係長	不登校の相談はよくありますが、最近で子どものひきこもりの相談について受けたことはありません。
基幹相談支援センター 川上	ひきこもりの相談窓口について、体系図やフローチャートを作成すると、可視化ができてよいと思います。 性の理解については、こども部会において、まずは事業所同士で情報共有することから始めるとよいと思います。 ヘルパーの人材不足については、ハローワークでヘルパーの説明会を行ってみたらどうでしょうか。また、市では研修費用の助成について検討しているとのことのため、それも一助となればと思います。 身体障害者の進路については、瀬戸特別支援学校と企業のマッチングを行う場が増えると思います。
障がい福祉係長	ハローワーク主催で毎年雇用説明会を開催していますが、今年度は志向を変えて、瀬戸特別支援学校に企業が訪問し、説明会を行いました。校内見学や就職した先輩の話を聞きました。
基幹相談支援センター 川上	放課後等デイサービスを卒業したかたを交えた交流会を実施しているが、毎回盛況で、関心の高さがうかがえます。 地域活動支援センターについては、市としてどのように位置づけるか考えることが大切だと思います。特に精神障がい者にとっては、地域活動支援センターは居場所として必要な場所ですが、報酬単価が安いと、撤退する事業所も多いと聞きます。 地域活動支援センターの新規開設に関する相談はありますか。
障がい福祉係長	相談はありますが、まだ具体的な開設の話はありません。
古宮委員	日中一時支援についても、余暇や居場所として活用されています。就労中の方が、仕事とのメリハリをつけたり、生きがいになっているという声を聴くと、地域活動支援センターや日中一時支援の大切さを再認識します。
障がい福祉係長	ありがとうございました。次に、3その他に入ります。 (1)地域アドバイザーからの情報提供については、本日アドバイザーが欠席のためなしとします。 (2)次回運営会議の日程についてですが、本日欠席者が多いため、後日調整を図ります。 (3)その他としては、何かありますでしょうか。
村田委員	2月13日に虐待防止研修を開催しました。虐待防止委員会の動画を視聴した後、グループワークを行いました。今回3回目の開催

	でしたが、管理者と支援者が半々の参加でした。今回は基本的な内容が多かったので、アンケートではもう少し深い内容を学びたいという意見がありました。次年度、管理者向けか初任者向けかどちらの研修が有効か考えていきたいと思います。
基幹相談支援センター 川上	初任者向けの研修は、事業所で行うものだと思います。市として行う場合は、現任レベルの研修が適しているのではないかと考えます。
障がい福祉係長	その他、全体を通して質問や連絡事項等はありませんか。
	(なし)
障がい福祉係長	以上で、第4回運営会議を終了します。 ありがとうございました。